

頁	行	誤	正	頁	行	誤	正
st	水深 透明度	TW DO % Cl PH n		171	最下段	エゾアワビについて II	エゾアワビについて - II
9	21	5.0 0 203 956 1049 039 7.61 12 10		174	表	第1枠 A 467g	第1枠 A 467g/m ² 右欄にもmをつける
		5 202 938 1027 039 7.51		176	↑ 5	平均水温 9.0	平均水温 9.9℃
		10 198 7.67 833 0.41 7.02		192	↓ 1	W=aLb の式	W=aL ^b の式
		15 188 640 682 0.43 6.80		229	↑ 3	水量の次に	0.1個を入れる
		20 149 566 556 0.93 6.49		230	↓ 1	調査期間	調査月日
昭和 40 年度				昭和 41 年度			
15	第1表 8	月向	風向	3	↑ 2	尊	専
16	9	権現中	権現沖	20	4	円	丹
18	9	魚種	魚獲	28	2	馬馬力	最初の馬を削除
20	(2)の口	観測完線	観測定線	29		船名, 測点数欠測点数	
27		瑞鰯丸	瑞鷗丸	5.	6~7 東奥丸 14点 0, 6.3~4	14点 0	
122	10	現知	窺知	7.11~12 幸洋丸 14点 0, 8.2~3	幸洋丸 14点 0		
122	↑ 9	の 洑	の回 洑	9.	6~7 幸洋丸 14点 0, 10.1~2	幸洋丸 14点 0	
"	↑ "	WHW	WNW	11.	4~5 幸洋丸 14点 0,		
"	↑ 13	網	網	31	11	傾化	傾向
134	2	底網	底東網	"	14	その	それ
"	4	調査の方歩	調査の方法	33	↑ 2	魚鮮	魚群
"	5	3 8.3 5 罎	3 8.3 5 罎	83	調査員	中田 剏久	中田 剏久
135	最下段	大変化漁によるが乗組員の不足と	大型化による。しかし乗組員の不足と	85	"/	"	"
"	"	老齢化して伝り	老齢化の問題を抱え,	100	3	溜	
141	担当者	富永武給	富永武治	"	5	瑞鳴丸	瑞鷗丸
"	(口)より 2	瑞鳴丸	瑞鷗丸	"	↑ 12	"	"
149	(イ) 1	2.97 t YD	297 罎 D 12 HP	"	↑ 7	考際	考察
"	(イ) 5	210 b	210 D	"	↑ 3	前後	前年
150	2	緑網	縁網	"	↑ 2	秋秋イカ	最初の秋を削除
"	3	裾網	裾網	101	漁業課長	田名部政習	田名部政春
157	第2表	葉体長 0.1 11月3日	葉体長 0.1mm 11月3日 右欄にもmmをつける	"	↑ 11	鰺角	鰺角
159	↑ 2	ときの様子群の...	とき群の...	"	↑ 10	操索	探索
159	最下段	直径は5~6m	直径 5~6 m	"	↑ 8	初業	初漁
160	↓ 1	し, 何処	但し, 何処	102	6月18日の備考	鰺角	鰺角
160	↓ 2	つかの	幾つかの	104	7月22日の備考	游上	浮上
160	↓ 5	この産卵 游	産卵 游	110		日本海座棲生物調査	日本海底棲生物調査
160	↓ 15	ベタ風のととき	ベタ風のととき				
171	↑ 2	エゾアワビについて I	エゾアワビについて - I				